

ちやんと かわら版 千歳



千歳中央ライオンズクラブ

サケ稚魚の放流セレモニー

岡山で大切に育てられたサケ稚魚の放流セレモニーがさきごろ、サケのふるさと千歳水族館で行われました。千歳中央ライオンズクラブ(LC)、本村宏文会長)が、友好

クラブである岡山市西大寺LCとの相互交流事業として1997(平成9)年から続けており今年で25回目。例年1月に千歳市立祝梅小学校の児童がサケの卵(発眼卵)を西大寺西小学校に届け、3月には岡山の児童が立派に生育した稚魚とともに千歳を訪問。千歳の子どもたちと一緒に、千歳川へ稚魚を放流する予定でした。しか

し、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、代表児童の往来は中止となり、当日は西大寺LCの田尾公人会長と中村千晃幹事がセレモニーに参加しました。西大寺LCの田尾会長は「今年はとても生育が



早く、立派に成長した稚魚を届けることができました。25年に渡る交流の成果を実感し幸せに感じています」と感謝の言葉。続いて、祝梅小学校の橋本由美校長は「コロナ禍で昨年からは子どもたちの往来ができないう状況となりましたが、皆さまのご尽力で命の大切さを学ぶサケの学習を続けていけることを大変感謝しております」と挨拶。千歳中央LCの本村会長は「今回は規模を縮小しましたが、25年に渡る交流の歴史を絶やすことなく今後も継続していきたい」と話していました。

(編集部 葉多栞)

(編集部 葉多栞)



北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)で3月21日、市民教養セミナー「折り紙が地球を救う!?」1枚の紙から広がる無限の可能性」が開催されました。講師は、公立千歳科学技術大学1年生の皆勝(みなかつ)亮汰さん。小学1年生の時に読んだ本がきっかけで折り紙の魅力に開眼。高校在学中に開発した独自の「ミナカツ折り」をもとに、人

工衛星用自動展開式ソーラーパネルへの活用を考案し「テクノ愛2020」大学の優秀賞を受賞した経歴の持ち主です。講演では、折り紙の技術を用いた先行研究や工業製品等を紹介した上で、「ミナカツ折り」の特長や、自身の大学で

折り紙研究で社会貢献

科技大1年生 皆勝さんが講演

の研究目標等を発表。応用化学生物学科の谷尾宣久教授が研究する次世代型素材を用いたソーラーパネルを実作するほか、「日用品や防災用品に折り紙技術を応用したい」と今後のビジョンを表明しました。皆勝さんの夢のひとつは、環境問題への折り紙技術の応用。講話では「折り紙構造によって省スペース、省エネルギー、省資源を実現できます。これをSDGs(持続可能な開発目標)の考え方をもちて展開し、環境にやさし

い製品を作ることや地域社会に貢献したい」と力を込めました。講演後には、折り紙に熱中するきっかけとなった書籍から、「飾り兜」(写真下)の折り方をレクチャー。参加した小学6年生の加藤咲子さんは「難しいけれど楽しかった」と振り返りました。皆勝さんの折り紙作品は、4月21日(水)から24日(土)まで千歳市民ギャラリーで開催される「第2回ちとせコレクション」で展示されます。問合せは千歳市介護予防センター☎23・0012まで。

(編集部 木山)



千歳高校で3月23日、姉妹校提携を結ぶ韓国ソウル市立空港高校とのオンラインによる生徒間交流が行われました。国際交流プログラムとしての実施で、国際流通科や国際教養科の1、2年生16人が参加。オンライン会議システムZoomを使い、韓国の生徒17人と交流を図りました。両校は1994年から、姉妹校として相互訪問交流をスタート。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で相互訪問は中止となりましたが、国際交流を担当する教諭らの「交流の火を絶やさず、生徒たちに異文化交流をさせたい」との思いからオンラインでの交流を継続して実施してきました。

千高生と韓国の高校生がオンラインで国際交流

この日は、互いの学校と学生生活を紹介するビデオを放映。千歳高校紹介動画の編集責任者を務めた川村明那(めいな)さんは「コロナウイルスの感染拡大でなかなか会えない状況が続きますが、このビデオを通して私たちの学校のことを理解してもらえれば」と挨拶。続いて、日韓けん玉対戦が行われ、熊部隼さんが模範演技を披露しました(写真左下)。互いに韓国語、日本語、英語を駆使した画面越しの国際交流は、大いに盛り上がりを見せ約1時間にわたって行われました。交流プログラムに参加した生徒からは「英語がとてもしんどい」話や「話がちゃんと聞いてくれ、日本の文化を知ろうとしている」と拙い韓国語でも理解しようとしてくれて話しやすい」といった声が聞かれました。

(編集部 葉多栞)



面校は1994年から、姉妹校として相互訪問交流をスタート。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で相互訪問は中止となりましたが、国際交流を担当する教諭らの「交流の火を絶やさず、生徒たちに異文化交流をさせたい」との思いからオンラインでの交流を継続して実施してきました。

この日は、互いの学校と学生生活を紹介するビデオを放映。千歳高校紹介動画の編集責任者を務めた川村明那(めいな)さんは「コロナウイルスの感染拡大でなかなか会えない状況が続きますが、このビデオを通して私たちの学校のことを理解してもらえれば」と挨拶。続いて、日韓けん玉対戦が行われ、熊部隼さんが模範演技を披露しました(写真左下)。互いに韓国語、日本語、英語を駆使した画面越しの国際交流は、大いに盛り上がりを見せ約1時間にわたって行われました。交流プログラムに参加した生徒からは「英語がとてもしんどい」話や「話がちゃんと聞いてくれ、日本の文化を知ろうとしている」と拙い韓国語でも理解しようとしてくれて話しやすい」といった声が聞かれました。

お持ちの不動産 ご自宅や土地など

下取りします!

神出設計グループ **ecoa HOUSE** が **エコハウス**

お悩みを解決します!

相続した不動産を何とかしたい。。
今ある資産をキレイにしておきたい。。
仲介手数料がもったいない。。

無料 で承ります。

査定・相談 仲介手数料